

調査結果を受けて今後の改善の方向等について

◇ 全国学力・学習状況調査及び岩出市学力調査の結果から見えた、岩出市の子もたちの課題解決に向けた今後の取り組みについて、「学校での取り組み（学校で取り組むこと）」「家庭での取り組み（家庭で取り組むこと）」等、それぞれの役割を明確にして、共通理解を図りながら取り組んでいく必要があります。

◎ 市の施策として、以下のような取り組みを行っています。

【小学校】

- **学力定着フォローアップ事業（県教委）**
退職教員等を学校に派遣し、授業改善等の助言等行う。
山崎小・中央小
- **メンター制による研修実施の調査研究（和歌山大）**
初任者や若手教員の研修充実とミドルリーダーの育成
岩出小・山崎北小

【中学校】

- **土曜学習教室**
年間20回、大学生等が講師となり、テキスト（国語、数学）を中心に実施。

【小・中学校共通】

- **岩出市学力向上実践事業**
学力向上先進校（地域）に教員を派遣し、研修や実践研究を行うことで、授業力の向上、児童生徒の学力向上を図る。
- **岩出市学力調査**
全国学力・学習状況調査と同日に実施し、早期からの実態把握、継続的な改善サイクルに活かす。
小学校…国語、算数（3年・4年・5年）
中学校…国語、数学（1年・2年）
- **学校司書派遣**
岩出図書館の司書資格を有する職員を学校に派遣し、児童生徒の読書活動を豊にするための支援（図書館環境整備、読み聞かせ、調べ学習の支援等）を行い、教員等と連携して学校図書館の充実、児童生徒の読書力・学力向上を図る。
- **家庭学習の手引き「いわでのこ」～家庭教育はすべての教育の出発点～**
家庭における生活習慣や学習習慣、学習内容等のめやすを発達の段階に応じて示した手引きを全家庭に配布し、家庭学習の充実に努める。

◎ 学校では、以下のような授業等に取り組んでいきます。

1 見通しを立てたり、振り返ったりする学習活動をすすめていきます。

→ 児童生徒自身が、1つの単元を通して「付けたい力を明確にする」ためにゴールを提示したり、1時間の授業において「何を学ぶのか」を理解し、授業で「何を学んだのか」を実感できる学習活動を展開したりすることで、「わかったこと」「わからないこと」が自己評価でき、教師への質問や補充学習等につなげていきます。

2 多様な考えに触れ思考を活性化させたり折り合いをつけたりするなど、協働的な学びを積極的に取り入れます。

→ 教師が一方向的に知識を教えるだけの講義型授業から、ペア学習やグループ学習など「学び合い」を意図的に取り入れた授業を行うことで、「自分の考えを持つ」「自分の考えを伝える」「友達の考えを聞く」など、自らの考えや集団の考えをより深く発展させるとともに、すべての児童生徒が活躍し、達成感を共有できるようにしていきます。

3 全ての教科等を通じて、言語活動の充実に取り組めます。

→ 日常生活や体験的な学習活動を通して、個々の思いを表現する機会を十分確保し、例えば活動したことを、記録・説明・報告・紹介・感想・討論などの言語活動を行う能力を確実に身に付けることで、論理や思考といった知的活動、コミュニケーション、感性・情緒等の基盤となる豊かな言葉の力を育てていきます。

4 読書活動の充実に向けた取り組みを推進します。

→ 全ての教科等の基礎・基本となる読解力を身につける読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。各学校では、朝読や読み聞かせなど、本に親しむ時間を設定しています。また、岩出図書館の司書資格を有する職員を全小中学校に派遣し、学校図書館の整備や子どもたちへの読み聞かせ、調べ学習の支援等アドバイスを行うことを通して、本に親しみ、主体的に読書や調べ学習をする活動へと広げていきます。

5 朝学や補充学習、家庭学習（宿題）を充実させます。

→ 朝の時間を活用して全校で取り組むプリント学習や放課後等の時間を使った補充学習を充実させることで、一人一人の基礎的な学力を把握するとともに、その日のうちに分かって帰る（学力の定着）ようにしていきます。また、発達の段階に応じた宿題を出したり、自主的な学習に取り組むよう家庭と連携を図りながら進めていきます。

6 その他

→ 道徳の時間や特別活動（学級活動や行事等）、人権学習を大切にして、人との関わりや豊かな心、人を大切にする心を育てていきます。

また、朝の運動や部活動等、運動機会を保障して体力の向上に取り組み、教室の学習環境の整備、机の上や椅子の座り方等授業規律について継続的に指導していきます。

◇ 特に、全国学力・学習状況調査では、生活習慣や家庭学習、そして、メディア（テレビ、携帯電話・スマートフォン等）と学力等との相関関係がより明確になっています。（「いわでのこ」参照）

岩出市の子どもたちは、メディアへの依存性が国及び県と比較して大変高く、反対に家庭学習や読書の時間等が少なくなっています。

このような状況から、学力の定着に至らない要因の一つであると考えられます。

◎ 家庭では、以下のような取り組みができるように、子どもと一緒に話し合ってください。

1 児童生徒の基本的生活習慣の確立にご協力ください。

→ 子どもたちが健やかに成長していくためには、適切な運動、バランスのよい食事、十分な休養・睡眠が大切です。しかし、基本的生活習慣が乱れると、学習意欲や体力、気力の低下などの影響が見られます。そこで、「早寝早起き朝ごはん」運動に各家庭、地域で大人も子どもと一緒に、基本的生活習慣の確立や生活リズムの向上に取り組んでいきましょう。

2 学習習慣（環境）づくりにご協力ください。

→ 岩出市教育委員会作成「家庭学習の手引き いわでのこ」や各学校が作成した手引き等を参考に、発達の段階に応じた学習時間や学習内容（予習や復習、読書など）に自ら取り組むなど、学習習慣が確立できるよう、場所や時間を決め、時には励ましたりほめたり、また、一緒に読書を行うなどしていきましょう。

3 テレビやゲーム等のルールのご協力ください。

→ 家庭にいる（起きている）時間の大半を、テレビやテレビゲーム等に触れることで、視覚や聴覚への継続的な刺激により脳が休まる時間がありません。だからといって、全て禁止というのではなく、まず、家庭で話し合うことが大切です。一度、大人も含めて家庭の約束事を話し合ってみましょう。

4 スマートフォン等の購入に際し、フィルタリングや使い方等ルールを話し合い、守らすようご協力ください。

→ 情報化社会に生きていくこれからの子どもたちにとって、今後、情報機器等の適切な使用能力が求められます。最も身近な道具が、携帯電話やスマートフォン等です。これらの道具のメリット（長所）とデメリット（短所）についてしっかりと理解した上で、フィルタリングサービスや使い方のルールを守らせる必要があります。また、情報モラルについてもしっかりと学ぶ必要があります。これから購入する場合はもちろん、すでに持たせている家庭についても、子どもたちの使い方をしっかりと把握して、適切な使い方等について、今一度家庭で話し合しましょう。

◇ これからも、子どもたちの「生きる力」（「確かな学力（知）」「豊かな人間性（徳）」「健やかな体（体）」のバランスのとれた力）をより一層育むために、学校の取り組みへのご理解、ご協力いただくとともに、引き続き家庭、地域と連携を密にして岩出の子どもたち一人一人を大切にしていきたいと思います。